

武蔵村山市 令和7年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	未来に残す東京の農地プロジェクト事業		
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 1 農業		
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	農政 係 内線 226
	根拠法令等	東京都未来に残す東京の農地プロジェクト実施要綱、東京都未来に残す東京の農地プロジェクト補助金交付要綱、武蔵村山市未来に残す東京の農地プロジェクト事業補助金交付要綱		
	目的	農地が持つ環境保全などの多面的機能をより発揮させるとともに、地域住民に配慮した基盤整備により、貴重な都市農地の保全を図る。		
内容	農地の多面的機能をより発揮させるために地域及び環境に配慮した基盤整備に要する経費の8分の7を補助するもの。補助対象は、土留、フェンス、農薬飛散防止施設、簡易直売所等の整備に係る経費。			
対象(交付先)	農業者			

SDGsの取組

2 飢餓をゼロに



評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				1	補助金交付者数 (第三次農業振興計画に掲げる平成30年度から令和9年度までで累計15人を目標値とし、実績は当該年度までの累計を記載)	人
			実績	21	25	
			達成率	140%	167%	
2			目標			
			実績			
			達成率	-	-	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算		
交付金額(千円)	2,887	27,549	7,963		-
一般財源	412	3,935	7,963		
国都支出金	2,475	23,614	0		
その他	0	0	0		
人件費	1,539	1,567	1,717		他市等の状況
会計年度任用職員以外の職員(千円)					
所要人員(人)	0.20	0.20	0.20		
会計年度任用職員(千円)	0	0	0		
	0.00	0.00	0.00		
合計(補助金+人件費)	4,426	29,116	9,680		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和6年度の市補助金の使途	
	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算			
総額(千円)	0	0	0	0	交付金額(千円)	27,549
市補助金	-	-	-	-	使途内訳	
会費	-	-	-	-		
繰越金	-	-	-	-		
事業収入	-	-	-	-		
その他	-	-	-	-		
支出	0	0	0	0	割合(%)	
交際費、飲食費	-	-	-	-	団体収入に占める補助金の割合	-
人件費	-	-	-	-	団体収入に占める繰越金の割合	-
事業経費	-	-	-	-	交付金額に対する繰越金の割合	-
その他	-	-	-	-		

視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある	
		補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない	
類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当		

令和6年度の実績	補助金交付に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> ●フェンス及び土留 1基 ●防災兼用井戸 1基 ●土留 2基 	-


【今後の方向性】 拡充 現状維持 縮小・見直し 廃止・休止・終了

本補助金は、都市化が進む市内の農地について、都市農地保全の取組として実施するものであり、周辺の環境との調和を図りながら、農業者の生産活動を継続していくためには補助が必要である。
また、食の安全性に対する関心などから生産者の顔が見える安全で安心な農産物の需要は高く、住まいに近い地域の農業者が生産する新鮮な農産物を求める市民ニーズにも合致していることから、引き続き事業を実施していく。

		今後の方向性		
		コスト		
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	市街化調整区域内道路整備事業				
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 1 農業				
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	維持補修 係	内線	263
	根拠法令等	—				
	目的	市南西部（中原及び残堀地区の一部）の市街化調整区域内農地（通称「多摩開墾」）内の市道（砂利道）を営農者からの要望に基づく農業委員会からの依頼により整備路線を決定し、都度補修するものであり、それにより営農者の利便性及び生産性の向上、農業振興等を図る。			SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	多摩開墾内の市道は、耕作への配慮の観点からアスファルト舗装ではなく砂利敷のため、営農者が使用する車両の通行による損傷箇所が発生することから、年に一度補修工事を実施している。					

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				1	砂利舗装等改修工事の実施	—
2	—	—	実績	実施	実施	
			達成率	—	—	
			目標	—	—	—
2	—	—	実績	—	—	
			達成率	—	—	
			目標	—	—	—


事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費（千円）		1,859	1,815	1,318		令和7年度に農業委員会より、市長へ多摩開墾内の道路整備の要望書が提出されている。
財源内訳	一般財源	259	215	1,318		
	国都支出金	1,600	1,600	0		
	その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	1,154	1,175	1,288		
	所要人員（人）	0.15	0.15	0.15		
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（事業費+人件費）		3,013	2,990	2,606		

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効果性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> 不陸整生工 88㎡ 樹脂製敷板設置工 20枚 <p>【参考（令和5年度実績）】 【施工場所】 残堀四丁目・中原五丁目地域内 【施工内容】 再生粒度調整砕石RM-30舗装の凸凹を25～28mmの厚さで整正 【工事面積】 982㎡ 【工事費】 1,859,000円</p>	多摩開墾内道路は市道として認定しているため、維持管理は市が行っている。しかし、道路の利用者は区域内の営農者に限られることから、市道認定を廃止し、農道として再認定するなど、予算管理を含め市内における農業施策の所管である農業委員会への移管等を検討する余地がある。あきる野市では広域農地内の道路を、農道として管理している。また、長野県内の複数の自治体では、自治体が原材料を支給し住民が補修していることから、補修方法を見直すことができる。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 当該地区内道路の利用者は営農者に限られるものの、現状は市道として認定しているため、引き続き農業委員会からの依頼に基づき、砂利道の補修を実施する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>			今後の方針			コスト			成果	向上	削減	維持	増加	維持			○		低下				
				今後の方針																				
		コスト																						
成果	向上	削減	維持	増加																				
	維持			○																				
	低下																							

武蔵村山市 令和7年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	新規就農者定着支援事業		
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 1 農業		
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	農政 係 内線 226
	根拠法令等	東京都都市農業経営力強化事業実施要綱、東京都都市農業経営力強化事業費補助金交付要綱、武蔵村山市都市農業経営力強化事業費補助金交付要綱		
	目的	認定農業者や新たな農業の担い手となる認定新規就農者に対し、収益性の高い農業や早期に安定した農業経営ができるよう支援する。		SDGsの取組 2 飢餓をゼロに
内容	認定農業者が効率的で生産性の高い農業を展開するための施設等の整備や新規就農者が就農に必要な施設整備及び農業用機械の導入に係る費用の一部を補助する。			
対象(交付先)	認定農業者及び認定新規就農者			

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				1	補助金交付者数	人
			実績	2	0	
			達成率	100%	0%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	
			達成率	-	-	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算		
交付金額(千円)	3,078	0	0		-
一般財源	440	-	-		
国都支出金	2,638	-	-		
その他	0	-	-		
人件費	1,539	0	0		他市等の状況
会計年度任用職員以外の職員(千円)	1,539	0	0		
所要人員(人)	0.20	0.00	0.00		
会計年度任用職員(千円)	0	0	0		
所要人員(人)	0.00	0.00	0.00		
合計(補助金+人件費)	4,617	0	0		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和6年度の市補助金の使途	
	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算			
総額(千円)	0	0	0		交付金額(千円)	0
市補助金	-	-	-		使途内訳	
会費	-	-	-			
繰越金	-	-	-			
事業収入	-	-	-			
その他	-	-	-			
支出	0	0	0		割合(%)	
交際費、飲食費	-	-	-		団体収入に占める補助金の割合	-
人件費	-	-	-		団体収入に占める繰越金の割合	-
事業経費	-	-	-		交付金額に対する繰越金の割合	-
その他	-	-	-			


視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある		
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない		
類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当		

令和6年度の実績	補助金交付に当たっての課題
令和6年度は交付実績なし。	-

今後の方針		
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	
<p>本事業は、認定農業者及び認定新規就農者に対し、収益性の高い農業経営を行うための支援や、早期に農業経営を安定させ農業を継続するための施設及び農業機械に対する支援であることから、今後も引き続き補助を行う必要がある事業である。</p> <p>また、遊休農地の有効利用策として、高齢化等により農業経営が困難となった農地を認定新規就農者に貸し出す等により利用促進につながることから、引き続き新規就農者の受入れを実施していく。</p> <p>ただし、本事業は令和6年度で終了し、現在は農業経営強靱化事業補助金に継承されている。</p>		
今後の方針	コスト	
	削減 維持 増加	
成果	向上	
	維持	
	低下	

(廃止・休止・終了の場合は「0」の記入不要)

武蔵村山市 令和7年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	新規就農者育成総合対策事業		
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 1 農業		
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	農政 係 内線 226
	根拠法令等	新規就農者育成総合対策実施要綱（国）、新規就農者育成総合対策（経営開始資金）費補助金交付要綱（都）、武蔵村山市新規就農者育成総合対策（経営開始資金）費補助金交付要綱		
	目的	次世代を担う農業者となることを志向する者に対し、補助金（経営開始資金）を交付することにより、農業経営開始直後の経営確立及び新規就農者の育成・確保を図ることを目的とする。		SDGsの取組 2 飢餓をゼロに
内容	市内で新たに就農する50歳未満の者に対して、月額12万5千円の資金を交付することにより、就農時の経営の安定化を図る。なお、交付期間は3年間である。			
対象（交付先）	新規就農者（青年就農者）			

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				1	新規就農者数 （平成30年度から令和9年度までで累計6人を目標とし、実績は当該年度までの累計を記載）	人
			実績	4	4	
			達成率	133%	100%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	
			達成率	-	-	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算		
交付金額（千円）	1,500	1,500	1,800		-
一般財源	0	0	0		
国都支出金	1,500	1,500	1,800		
その他	0	0	0		
人件費	1,539	1,567	1,717		他市等の状況
会計年度任用職員以外の職員（千円）	1,539	1,567	1,717		
所要人員（人）	0.20	0.20	0.20		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	3,039	3,067	3,517		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和6年度の市補助金の使途
	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算		
総額（千円）	0	0	0		交付金額（千円） 1,500
市補助金	-	-	-		使途内訳
会費	-	-	-		
繰越金	-	-	-		
事業収入	-	-	-		
その他	-	-	-		
支出	0	0	0		割合（%）
交際費、飲食費	-	-	-		団体収入に占める補助金の割合
人件費	-	-	-		団体収入に占める繰越金の割合
事業経費	-	-	-		交付金額に対する繰越金の割合
その他	-	-	-		

視点別の分析	公益性	有効性	効率性	市の関与は必要か				
				市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある		
				市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
				一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
				廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当	
				補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある		
				補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
				補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない						
類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当					

令和6年度の実績	補助金交付に当たっての課題
令和6年度は1人に支給した。 【内訳】 ●月額125千円×12月×1人=1,500千円	-

今後の方針

【今後の方向性】 拡充 現状維持 縮小・見直し 廃止・休止・終了

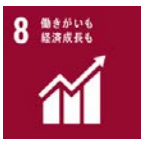
成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
向上			
維持		○	
低下			

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

令和4年度に開始された国の新規就農者支援策であるため、引き続き支援を行っていく。なお、補助期間は3年間であるが、補助期間終了後についても一定期間（5年間程度）営農状況の確認等が必要とされている。

市内の農地保全や担い手の確保、農業振興の側面からは、引き続き就農者の支援を行っていきたい。

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	地域農業経営基盤強化促進計画策定事業			
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 1 農業			
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	農政 係	内線 226
	根拠法令等	農業経営基盤強化促進法			
	目的	高齢化や人口減少による農業者の減少、耕作放棄地の拡大により、地域の農地が適切に利用されなくなることが懸念されるため、地域での話し合いにより、地域の目指すべき農地利用の将来像を明確化する地域計画を定め、農地バンクを活用した農地の集約化等を進めることを目的とする。			SDGsの取組 8 働きがいも経済成長も
内容	令和5年度：①農業者へのアンケート調査 ②調査情報の地図による整理 ③地域での話し合い（座談会等）の開催 令和6年度：④地域計画（案）の検討会の開催 ⑤地域農業経営基盤強化促進計画の策定				

評価指標	指標名		単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1	担い手に対する農用地の集積率 (目標集積率：44.8%)	%	目標	—	44.8	—
				実績	—	28.6	
達成率				—	64%		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見			
	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算				
事業費（千円）	2,970	1,529	0	—			
財源内訳							
一般財源	2,970	1,529	—				
国都支出金	0	0	—				
その他	0	0	—				
人件費							
会計年度任用職員以外の職員（千円）	770	784	0				
所要人員（人）	0.10	0.10	0.00				
会計年度任用職員（千円）	0	0	0				
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00				
合計（事業費+人件費）	3,740	2,313	0				


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある					
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当				
		市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当				
		有効性		廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当		
				受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当		
				施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある				
				効率性		民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
					<input checked="" type="checkbox"/>	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
					<input type="checkbox"/>	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和5年度に作成した農地利用意向調査報告書や座談会の実施経過等を踏まえて、令和6年度に地域農業経営基盤強化促進計画を策定した。	—


今後の方針				
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小・見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・終了
本事業は、農業経営基盤強化促進法等の一部改正に伴い、将来の農業や農地の利用について話し合いを行い、令和6年度までに地域農業経営基盤強化促進計画を策定するものであるが、令和6年度に策定を完了したため事業を終了する。 今後は、農地利用意向の把握に努め、担い手に集積等を行い、効率的な農地利用が行えるよう計画の改定を行っていく。				
成果	今後の方針			
	コスト			
	削減	維持	増加	
向上				
維持				
低下				

（廃止・休止・終了の場合は「0」の記入不要）

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調書

事務事業の概要	事務事業名	体験型市民農園事業						
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 1 農業						
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	農政 係 内線 226				
内容	市民の農業体験の機会を確保するとともに、農業に対する理解の促進を図り、もって良好な農地の保全を推進することを目的とする。 体験型市民農園の開設に当たり必要となる耕地の区画割りや通路の整備、運営当初に必要となる施設（倉庫等）の整備費用の一部について、整備の主体となる農地所有者に補助するもの。	SDGsの取組						
		2 飢餓をゼロに 						
事務事業の実績	事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和6年度の検討状況		
	事業費（千円）		0	0	0			
	財源内訳	一般財源	-	-	-			
		国都支出金	-	-	-			
		その他	-	-	-			
	人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）		231	235		258	
		所要人員（人）		0.03	0.03		0.03	
		会計年度任用職員（千円）		0	0		0	
		所要人員（人）		0.00	0.00		0.00	
	合計（事業費+人件費）		231	235	258		令和7年度に開園を予定している農業者に対し補助事業や法令等の内容について説明した。	
所管課の評価	事務事業の評価				事務事業の今後の進め方			
	【達成度】	<input type="checkbox"/> 目標以上 <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標以下 <input type="checkbox"/> その他				体験型市民農園は、都市部における農業と住民の交流を深める取組として、市民が農業に関わる契機となり、農に対するふれあいや農地保全を図るため設置しており、本補助金は、その開設に係る費用を補助するものであることから、今後も開園時には継続して行っていく。 また、今後もふれあう農業の推進を図るため、体験型市民農園の開設に関する広報はを行い、合わせて開園している3園については、利用者募集の広報等の支援は継続していく。		
	【理由】	第五次長期総合計画及び第三次農業振興計画において、体験型市民農園の設置数（3箇所）を成果指標として掲げており、これまで2箇所の開設を達成してきた。令和6年度においては、農業委員会報などで広報活動を行った成果として、体験型市民農園の開園を検討する農業者が現れた段階であったが、令和7年度、その検討者が無事開園を果たし、計画に基づく成果指標達成に向けて進展があった。						

武蔵村山市 令和7年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	武蔵村山地域ブランド創造活動事業		
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 2 商工業		
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	商工 係 内線 225
	根拠法令等	武蔵村山地域ブランド認証事業実施要綱、武蔵村山地域ブランド開発事業補助金交付要綱、武蔵村山地域ブランド普及促進事業補助金交付要綱		
	目的	市内の魅力ある商品等を認証し、広く他の地域に発信するとともに、本市の活性化と魅力の向上を図る。		SDGsの取組 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
内容	市内産品を活用した商品等を武蔵村山地域ブランドとして認証し、市内外へ発信するとともに、認証商品の開発や普及促進に要した費用の一部を補助する。			
対象(交付先)	地域ブランド認証事業者			

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1	地域ブランド認証商品数	品目	目標	15	15
			実績	9	10	
			達成率	60%	67%	
2	-	-	目標	-	-	-
			実績	-	-	-
			達成率	-	-	-

事業経費				令和5年度決算			令和6年度決算			令和7年度予算		
補助金	交付金額(千円)	200	0	1,300	市民・議会等から寄せられた意見							
	一般財源	200	-	1,300	行政評価委員会による外部評価で「開発支援は、他の創業支援を目的とした事業等との連携を検討する必要があり、既存の認証商品の分析により、本市の地域らしさにどう結び付くかの知見を確認して新規商品の開発に役立てることを期待する」旨の意見があった。							
	国都支出金	0	-	0	他市等の状況							
	その他	0	-	0	●立川市：輝く個店事業 商工会議所と連携し、地域のお店の中から「輝く個店」を選出し、専用ホームページ等で紹介している。							
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	154	470	515								
	所要人員(人)	0.02	0.06	0.06								
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0								
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00								
合計(補助金+人件費)		354	470	1,815								

交付団体等の決算予算の状況				令和5年度決算			令和6年度決算			令和7年度予算		
収入	総額(千円)	200	0	1,300	交付団体等の令和6年度の市補助金の使途							
	市補助金	200	0	1,300	交付金額(千円)							
	会費	-	-	-	使途内訳							
	繰越金	-	-	-								
	事業収入	-	-	-								
支出	総額(千円)	0	0	0	割合(%)							
	交際費、飲食費	-	-	-	団体収入に占める補助金の割合							
	人件費	-	-	-	—							
	事業経費	-	-	-	団体収入に占める繰越金の割合							
	その他	-	-	-	—							
	その他	-	-	-	交付金額に対する繰越金の割合							
		-	-	-	—							


視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある		
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない		
性	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	

令和6年度の実績	補助金交付に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> ●更新3件 ケーキ工房・ブームの「村山げんこつシュー」 ANNE・KANDYの「むさし村山四季彩シフォン」 シャトー洋菓子店の「むらやまロール」 ●新規認証1件 内野みかん園の「みかんワイン」 	新規認証が1件あったが、認証商品数の目標に達していないことから、認証商品の更なる増加に向けて、引き続き働きかけをしていく必要がある。

今後の方針				
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了				
市内産業の活性化のためには、市内の魅力ある商品等を地域ブランドとして認証し、広く市内外に情報発信する取組が重要である。本事業は、市内事業者に対して、新たな認証商品等の開発及びその広告宣伝の促進のため活用してもらうものであり、今後も継続していく必要がある。令和6年度に、平成30年度以来となる新規認証が1件あった。令和7年度においても申請相談を1件受けており、新規認証につながるよう引き続きフォローを続けていく。				
また、第九小学校のまちづくり学習において地域ブランドを取り上げることであったので、この機会を活かして、地域ブランドのPRや認証商品数の増加につながるような取組としていきたい。				
		今後の方針		
		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			
	低下			

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	創業支援等事業				
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 2 商工業				
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	商工 係	内線	225
	根拠法令等	創業支援等事業計画、産業競争力強化法				
	目的	創業希望者等の支援を行うことにより、市内での新たな産業の育成と雇用の創出に資するとともに、地域経済の活性化を図る。				SDGsの取組 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 
内容	創業を志す者のために、創業塾、創業セミナー、創業個別相談を実施する。事業実施は金融機関に委託する。					

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				1	創業支援制度を利用した創業者数	人
			実績	8	13	
			達成率	38%	62%	
2			目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見			
	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和4年第3回市議会定例会で「講師は公平性を保つよう中小企業診断士を始めとする土業、起業家など様々な講師に依頼していただきたい。」との意見が寄せられている。			
事業費（千円）	1,386	1,261	1,588				
財源内訳	一般財源	1,361	1,196				1,538
	国都支出金	0	0				0
	その他	25	65				50
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	462	470				515
	所要人員（人）	0.06	0.06				0.06
	会計年度任用職員（千円）	0	0				0
	所要人員（人）	0.00	0.00				0.00
合計（事業費+人件費）	1,848	1,731	2,103				

視点別の分析	内容	評価		
		必要である	見直しの余地がある	非該当
妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> ●むらやま創業塾「ゆめ」：参加者13人（全5回、定員13人） ●むらやま創業セミナー「みらい」：参加者7人（全1回、定員10人） ●個別相談（随時）：参加者延べ32人（開催日数32日） ●創業補助金：利用者3人（合計273千円） 	創業者数に対して、創業補助金の利用者が少なかった。利用意向を示していた方も、創業直後の時期で忙しく、結果的に申請をできなかったというケースも複数あった。

今後の方針			
成果	向上	コスト	
		削減	維持
		増加	
			○


【今後の方向性】 拡充 現状維持 縮小・見直し 廃止・休止・終了

国の認定を受けた「創業支援等事業計画」に基づき、これから創業する方や創業しておおむね5年未満の方を対象として各種支援を実施するものであり、地域の雇用機会の確保や地域経済の活性化を図るため、今後も継続して実施していく。

塾やセミナーの内容等については、ローカルスタートアップ支援事業のビジネスプランコンテストと連動性を意識した内容にしたことに加え、開催時期も創業セミナーは8月、創業塾は9月・10月として実施したところ、創業塾の参加者は過去最多となるなど一定の効果があった。また、創業塾参加者のうち3名がビジネスプランコンテストにも参加し、グランプリを受賞するなど連動した成果や動きも見られたことから、引き続き各事業を連動させながら、より効果的に事業を進められるよう実施したい。

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	ローカルスタートアップ支援事業			
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 2 商工業			
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	商工 係	内線 225
	根拠法令等	—			
目的	新たな創業者の掘り起こしと地域に根差した創業に対する機運醸成を図ることを目的とする。			SDGsの取組 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	
内容	創業支援事業の一環で、地域の課題解決に資するビジネスプランを対象としたコンテストを実施するとともに、コンテストの入賞者が実際に創業又は事業を開始することが見込まれる場合に奨励金を交付する。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				1	ビジネスプランコンテストエントリー者数	人
			実績	—	35	
			達成率	—	175%	
2	奨励金交付者数	人	目標	—	3	3
			実績	—	3	
			達成率	—	100%	

事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費(千円)		0	3,008	2,730	
財源内訳	一般財源	-	504	1,366	
	国都支出金	-	1,504	1,364	
	その他	-	1,000	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	154	627	687	
	所要人員(人)	0.02	0.08	0.08	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
合計(事業費+人件費)		154	3,635	3,417	


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
ビジネスプランコンテストの実施に向けて参加者を募ったところ、実施結果は以下のとおりとなった。 エントリー：受付人数35人 ワークゼミ：参加者数28人 一次審査：書類提出者数22組 最終審査会：参加者数9組 奨励金交付：3人	ビジネスプランコンテストの実施初年度は、武蔵村山市内で事業アイデアを持つ方からエントリーが多数あり、当初の想定を上回る参加があったが、今後も継続的に事業を実施した場合の効果は不明である。

今後の方針																						
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 現在のところ、ビジネスプランコンテストの実施に当たっては、事業アイデアの対象を市内におけるビジネスプランという地域の限定のみとしているが、スタートアップを活用して解決したい特定の地域課題がある場合には、課題を限定したコンテストなど、内容についても検討を図りながら進めていきたい。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead></table>			今後の方針			コスト			成果	向上		○		維持				低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和7年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	商店街振興事業		
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 2 商工業		
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	商工 係 内線 225
	根拠法令等	①武蔵村山市商店街チャレンジ戦略支援事業費補助金交付要綱 ②商工業振興奨励補助金交付要綱		
	目的	中小商業の振興を図り、もって地域経済の活性化に寄与する。		SDGsの取組 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
内容	①商店会等が実施するイベント事業に対し補助金を交付する。 ②商工会が行う商業振興事業（まいど～宅配事業）に対し補助金を交付する。			
対象（交付先）	①市内商店会等 ②武蔵村山市商工会			

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				1	補助金交付件数（イベント数） ※右記目標値は、当初予算の見積値	件
2	まいど～宅配事業利用者数	人	実績	6	6	
			達成率	75%	75%	
			目標	2,200	2,200	2,200
			実績	1,457	1,354	
			達成率	66%	62%	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算		
交付金額（千円）	6,384	5,682	4,850		-
一般財源	3,977	3,544	3,213		
国都支出金	2,407	2,138	1,637		
その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	770	784	859	他市等の状況 ①については、他市でも同様の取組を行っている。 ②については、他市では同様の取組は見られない。
	所要人員（人）	0.10	0.10	0.10	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（補助金+人件費）		7,154	6,466	5,709	

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和6年度の市補助金の使途	
	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算			
収入	総額（千円）	0	0	0	交付金額（千円）	5,682
	市補助金	-	-	-	使途内訳	
	会費	-	-	-		
	繰越金	-	-	-		
	事業収入	-	-	-		
その他	-	-	-			
支出	総額（千円）	0	0	0	割合（%）	
	交際費、飲食費	-	-	-	団体収入に占める補助金の割合	—
	人件費	-	-	-	団体収入に占める繰越金の割合	—
	事業経費	-	-	-	交付金額に対する繰越金の割合	—
	その他	-	-	-		


視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある		
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	効率性	補助期間を設定しているか	<input type="checkbox"/> 設定している	<input checked="" type="checkbox"/> 設定していない	
類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当		

令和6年度の実績	補助金交付に当たっての課題
【補助実績】 ①商店街チャレンジ戦略支援事業費補助金 ●村山中央ショッピングセンター商店会（2イベント、1,818千円） ●村山団地中央商店会（1イベント、321千円） ●横中商店会（2イベント、968千円） ●村山アメ横通り商店会（1イベント、575千円） ②商工業振興奨励補助金 ●武蔵村山市商工会（2,000千円）	地元商店街の活性化のため、各事業について市民への周知を進めることにより、イベントへの来場者又はまいど～宅配事業利用者の増加につなげる。 商店会の担い手不足などの解消に向けて、将来的に商店会の統合を検討したい意向を一部から受けている。統合となった場合には、イベント事業の実施回数や方法などが変更となる可能性がある。

今後の方針																			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 地域経済の振興や地域コミュニティの活性化を図るため、引き続き市内商店会等への補助を行うとともに、都補助金を活用した新たな事業実施要望の有無について、連絡会等を通じて意見を求めていく。 令和6年度は、村山団地中央商店会が開催するイベントが年2回から年1回に減少したが、村山アメ横通り商店会が新規イベントを企画し実施したため、全体として増減はなかった。今後の補助事業については、商店会の統合等の状況を注視しつつ、検討を進めていく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト			成果	向上	削減	維持	増加	維持		○		低下			
今後の方針		コスト																	
成果	向上	削減	維持	増加															
	維持		○																
	低下																		

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	空き店舗活用事業		
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 2 商工業		
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	商工 係 内線 225
	根拠法令等	産業振興ビジョン 令和6年度武蔵村山市空き店舗活用補助金交付要綱		
	目的	地域経済の活性化を図るため、市内の空き店舗や空きオフィスの利活用を促進する。	SDGsの取組 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	
内容	市内の事業用に供する空き店舗情報の収集・情報発信を行い、利活用を希望する事業者、創業を希望する起業家につなげる支援を行う。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1	空き店舗を活用した事業者数	事業者	目標	2	2	2
				実績	0	0	
				達成率	0%	0%	
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		


事業経費				市民・議会等から寄せられた意見			
	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算				
事業費(千円)	0	0	600	—			
財源内訳	一般財源	-	600				
	国都支出金	-	0				
	その他	-	0				
	会計年度任用職員以外の職員(千円)	1,000	784			859	
人件費	所要人員(人)	0.13	0.10			0.10	
	会計年度任用職員(千円)	0	0			0	
	所要人員(人)	0.00	0.00			0.00	
合計(事業費+人件費)	1,000	784	1,459				

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある		
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
空き店舗の解消を図るとともに、商店会の新たな担い手を増やし、商店街の活性化及び商店会の持続的な活動に資するため、令和6年度武蔵村山市空き店舗活用補助金交付要綱を制定し、新たな補助制度として空き店舗活用補助金を開始した。市ホームページで空き店舗情報を収集・公開し、空き店舗活用希望者を募集した。 空き店舗登録物件：1件 空き店舗活用希望事業者：なし	商店街地域における空き店舗は、令和5年度における職員の目視による実態調査において数件把握していたが、令和6年度に入り、空き店舗は解消された。 その後、空き店舗の登録が1件あったが、それ以降は登録の対象となるような空き店舗は発生していない。現在事業用の店舗として貸出をしていない空き店舗についても、本補助金を契機に活用されるよう、補助金の更なる周知が必要である。

今後の方針																						
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 空き店舗が発生することは、地域経済における経済損失等につながることから、事業は継続して実施していく。また、商店街地域以外の空き店舗の解消に向けて、本補助金の対象範囲の拡大について検討する必要がある。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead></table>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																						

武蔵村山市 令和7年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	バリアフリー住宅化助成事業			
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 2 商工業			
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	商工 係	内線 225
	根拠法令等	令和6年度武蔵村山市バリアフリー住宅化補助金交付要綱			
目的	市民の住環境における安心安全を推進するとともに、地域経済の活性化に資することを目的とする。			SDGsの取組 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	
内容	市内事業者によって施工される住宅の手すり新設、段差解消等のバリアフリー改修工事に対し、5万円を上限に工事費用の2分の1を補助金として交付する。				
対象（交付先）	市民				

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				1	補助金交付件数 ※右記目標値は、当初予算の見積値	件
			実績	17	16	
			達成率	85%	80%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	-
			達成率	-	-	-

事業経費				令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
補助金	交付金額（千円）	766	786	1,000		
	一般財源	766	786	1,000		
	国都支出金	0	0	0		
	その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	847	862	944		
	所要人員（人）	0.11	0.11	0.11		
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）		1,613	1,648	1,944		

市民・議会等から寄せられた意見

令和6年度の行政評価（外部評価）の対象事業となり、「将来的には福祉又は住宅関連を所管する部署への所管替えを検討していく必要があると料する。」と示されている。

他市等の状況

市内事業者に限って実施しているのは4市である。（八王子市、調布市、町田市、東村山市）

交付団体等の決算予算の状況				令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
収入	総額（千円）	0	0	0		
	市補助金	-	-	-		
	会費	-	-	-		
	繰越金	-	-	-		
	事業収入 その他	-	-	-		
支出	総額（千円）	0	0	0		
	交際費、飲食費	-	-	-		
	人件費	-	-	-		
	事業経費 その他	-	-	-		

交付団体等の令和6年度の市補助金の使途

交付金額（千円）	786
使途内訳	
割合（％）	
団体収入に占める補助金の割合	—
団体収入に占める繰越金の割合	—
交付金額に対する繰越金の割合	—

視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input type="checkbox"/> 必要である	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある
	効率性	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input type="checkbox"/> 効果がある	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	率性	補助期間を設定しているか	<input type="checkbox"/> 設定している	<input checked="" type="checkbox"/> 設定していない
	類似の補助金との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	

令和6年度の実績	補助金交付に当たっての課題
●バリアフリー住宅化補助金 補助件数：16件 補助額：786,000円	—

今後の方針

【今後の方向性】 拡充 現状維持 縮小・見直し 廃止・休止・終了

本事業は、令和4年度まで安心安全・エコ住宅等改修助成事業補助金として実施しており、令和5年度から、バリアフリー住宅化補助金（産業観光課）、木造住宅耐震改修等補助金（防災安全課）、ゼロカーボンシティ住宅普及促進事業補助金（環境課）として各所管において実施することとなったものである。

地域経済の活性化に資することを目的として市内事業者が施工する工事に限定しているが、各年度の実績は10数件にとどまり、地域経済の活性化への期待された効果は限定的であるといえる。

高齢福祉課が所管する高齢者自立支援住宅改修費給付事業と対象が重複していることから、事業移管や統合の方向で見直しを行うべく、引き続き協議を行っていく。


		今後の方針		
		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

補助金等の実施状況

所管課の評価

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	(仮称) 暫定第二駐車場整備事業		
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 2 商工業		
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	商工 係 内線 225
	根拠法令等	武蔵村山市暫定駐車場設置要綱		
	目的	村山団地周辺における路上駐車等の防止を図るとともに、周辺商店への来店利便性の向上を図り、賑わいを創出する。		SDGsの取組 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 
内容	団地西通り沿い、都有地の旧村山団地連合自治会集会所跡地を借り上げ、周辺来訪者用の暫定駐車場を整備する。 名称：武蔵村山市暫定駐車場（第二） 駐車台数：16台（うち軽自動車4台） 位置：武蔵村山市緑が丘1913番地の4			

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
				1	暫定駐車場の整備工事の実施	—	目標
				実績	検討	実施	
				達成率	—	—	
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—	—	
			達成率	—	—	—	

事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
事業費（千円）		0	1,287	0
財源内訳	一般財源	-	1,287	-
	国都支出金	-	0	-
	その他	-	0	-
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	1,000	1,175	859
	所要人員（人）	0.13	0.15	0.10
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		1,000	2,462	859

市民・議会等から寄せられた意見

令和5年6月19日に周辺の商店から要望書を受領し、令和5年第2回市議会定例会の一般質問において駐車場の整備の要望があった。

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当


令和6年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
暫定駐車場整備に係る工事を実施し、令和6年7月1日に供用を開始した。 工事費：1,287,000円	—

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 都有地の旧村山団地連合自治会集会所跡地について、当該土地を活用した駐車場の設置に関する周辺の商店からの要望や、市議会からの意見があったことから、駐車場として整備するものである。 令和6年度に整備を終え、東京都からの行政財産使用許可を得て、供用を開始したことから事業を終了し、今後は管理者である武蔵村山市都営村山団地西通り駐車場管理委員会と連携して管理を実施していく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							

（廃止・休止・終了の場合は「0」の記入不要）

所管課の評価

武蔵村山市 令和7年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	企業誘致促進事業			
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 2 商工業			
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	商工 係	内線 225
	根拠法令等	武蔵村山市企業誘致条例 武蔵村山市企業誘致条例施行規則			
	目的	市への企業の立地を促進するために必要な措置を講ずることにより、地域産業の振興及び市民の雇用機会の拡大を図り、もって地域経済の活性化及び市民生活の向上に資することを目的とする。			SDGsの取組 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
内容	市内工業地域に工場等を新設又は増設した企業を指定企業として認定し、奨励金を交付する。				
対象（交付先）	指定企業				

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				1	企業誘致による新規就業者数	人
			実績	0	0	
			達成率	0%	0%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	
			達成率	-	-	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算		
交付金額（千円）	20,000	20,000	20,000		-
一般財源	20,000	20,000	20,000		
国都支出金	0	0	0		
その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	539	549	601	他市等の状況 30市町村中14市町村（本市含む）が企業誘致に関する奨励金制度を実施しており、4市が企業誘致に関するマッチング支援制度を実施している。
	所要人員（人）	0.07	0.07	0.07	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（補助金+人件費）	20,539	20,549	20,601		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和6年度の市補助金の使途	
	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算			
収入	総額（千円）	0	0	0	交付金額（千円）	20,000
	市補助金	-	-	-	使途内訳	
	会費	-	-	-		
	繰越金	-	-	-		
	事業収入	-	-	-		
その他	-	-	-			
支出	総額（千円）	0	0	0	割合（%）	
	交際費、飲食費	-	-	-	団体収入に占める補助金の割合	-
	人件費	-	-	-	団体収入に占める繰越金の割合	-
	事業経費	-	-	-	交付金額に対する繰越金の割合	-
	その他	-	-	-		

視点別の分析	公益性	有効性	効率性	市の関与は必要か					
				市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	
				一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
				廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	受益がある	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
				補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
				補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input type="checkbox"/>	明確である	<input type="checkbox"/>	不明確な部分がある	
				補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/>	効果がある	<input checked="" type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
				補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input checked="" type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	設定している	<input type="checkbox"/>	設定していない					
			<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当		

令和6年度の実績	補助金交付に当たっての課題
令和3年度に新規指定した企業について、企業誘致奨励金を交付した。 ●交付件数1件 20,000千円	市内への移転希望のある市外事業者に対する周知方法の検討を行う。

【今後の方向性】 拡充 現状維持 縮小・見直し 廃止・休止・終了

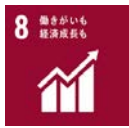
本事業は、市内産業の振興及び市民の雇用機会の拡大に寄与するものであり、引き続き工業集積の維持、発展に向けて、製造業やその研究開発機能、先端産業企業等の誘致を図る。また、新青梅街道沿道や多摩都市モノレール新駅周辺区域等へ商業、サービス業等の店舗や事業所等の立地促進を図るため、対象業種及び対象地域の拡大について検討を進める。

		今後の方針		
		コスト		
成果	向上		○	
	維持			
	低下			

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

所管課の評価

武蔵村山市 令和7年度補助金等評価調査書

補助金等の概要	補助金等名	武蔵村山観光まちづくり協会助成事業		
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 3 観光		
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	観光 係 内線 224
	根拠法令等	令和6年度武蔵村山観光まちづくり協会交付金交付要綱		
	目的	武蔵村山観光まちづくり協会の運営に当たり必要な経費を交付することにより、協会の充実を図り、地域の観光資源の活用の推進に資する。		SDGsの取組 8 働きがいも経済成長も
内容	観光まちづくり協会によりロケーションサービス事業、まち歩き事業、その他の観光事業を実施する。			
対象(交付先)	武蔵村山観光まちづくり協会			

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				1	まち歩きイベントの参加者数	人
			実績	29	11	
			達成率	145%	55%	
2	観光まちづくり協会会員による会費	千円	目標	1,000	1,020	1,200
			実績	1,032	1,136	
			達成率	103%	111%	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算		
交付金額(千円)	18,000	20,500	20,500		議会では、交付金が近隣市と比較して高額であること、また、自主財源により自立した運営を目指すことについて指摘を受けている。
一般財源	18,000	20,500	20,500		
国都支出金	0	0	0		
その他	0	0	0		
人件費	2,308	2,350	2,575		他市等の状況
会計年度任用職員以外の職員(千円)	2,308	2,350	2,575		多摩26市中21市にて観光協会が設置され、うち20市にて自治体から観光協会へ交付金等を交付している。
所要人員(人)	0.30	0.30	0.30		
会計年度任用職員(千円)	0	0	0		
所要人員(人)	0.00	0.00	0.00		
合計(補助金+人件費)	20,308	22,850	23,075		

交付団体等の決算予算の状況	令和5年度決算			令和6年度決算			令和7年度予算		
	総額(千円)	19,409	23,090	22,710	19,409	23,090	22,710	19,409	23,090
収入	18,000	20,500	20,500	18,000	20,500	20,500	18,000	20,500	20,500
支出	1,032	1,136	1,200	1,032	1,136	1,200	1,032	1,136	1,200
総額(千円)	19,409	23,090	22,710	19,409	23,090	22,710	19,409	23,090	22,710

視点的分析	令和6年度の実績		補助金交付に当たっての課題	
	公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
効率性	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
類同性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助基準は明確か	<input type="checkbox"/> 明確である	<input checked="" type="checkbox"/> 不明確な部分がある	
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助期間を設定しているか	<input type="checkbox"/> 設定している	<input checked="" type="checkbox"/> 設定していない	
	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

所管課の評価	令和6年度の実績				補助金交付に当たっての課題			
	会員口数	法人会員	個人会員	合計	交付金なしでは観光まちづくり協会の運営を維持することができない状況であることから、ロケーションサービス事業を中心に収益事業を充実させ、自立した運営を可能とするだけの収益を確保する必要がある。しかし、同協会は、設立してから6年目を迎えるが、コロナ禍に伴い予定していた事業を実施できなかったことや、職員の入れ替わりもあって事業実施のノウハウ等が蓄積されていないことから、早期に収益事業により収支改善を図ることが困難な状況となっている。			
	正会員	賛助会員	合計					
	92	12	104					
	72	11	83					
	28	8	36					
	26	8	34					
	120	20	140					
	98	19	117					

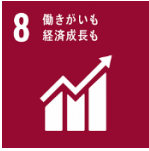
今後の方針				
【今後の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小・見直し	<input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了
<p>魅力ある観光事業を推進していくためには、民間の視点を生かした組織である観光まちづくり協会が持つ意思決定の迅速さやネットワークを生かした活動、独自性と時代にフィットした企画や情報発信を活用していく必要がある。特に、ロケーションサービス事業の依頼件数については、年々増加傾向にあり、本市がロケ地として少しずつではあるが、浸透し始めている。</p> <p>今後もロケーションサービス事業を筆頭に様々な事業を展開していく上で事務量の増加が見込まれることに加え、現在市が事務局を担っている市民まつり実行委員会の運営を平成30年度に実施した行政評価の結果に基づき段階的に観光まちづくり協会へ移管していく予定であることから、人件費の増加要因はあるが、収益事業の充実を図ることで、交付金を増額することなく同協会の自律的な運営を目指していきたい。</p>				
今後の方針				
コスト				
削減 維持 増加				
成果	向上		○	
	維持			
	低下			

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)


外部評価調書（補助金等）

事務事業名		武蔵村山観光まちづくり協会助成事業	
所管部署		協働推進部 産業観光課 観光係	
視点別の評価	公益性	<ul style="list-style-type: none"> ・市の関与は必要か ・市民のニーズに適合しているか ・一般市民にも間接的な受益があるか 	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・廃止・休止とした場合の市民への影響 ・補助基準は明確か ・補助金の交付により期待された効果が得られたか 	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 適切でない
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・補助内容や補助額の見直しは可能か ・補助期間を設定しているか ・類似の補助金との統合は可能か 	<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 効率的でない
総合評価	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	
	<p>本補助金は、武蔵村山観光まちづくり協会の運営に要する経費の一部を助成することにより、同協会の活動内容の充実と地域の観光資源の活用を推進することを目的としており、その意義が認められる。また、本市の観光施策の充実に寄与し、ロケーションサービス事業を通じた本市の魅力発信や、同協会における収益事業に係る収入の増加にもつながっていることから、今後も継続することが適当である。</p> <p>他方、主たる実施事業のうち、まち歩き事業は参加者数が低迷していることから、設立当時の理念を踏まえた事業の再考や利用者拡大に向けた改善策の検討が必要であると思料する。</p> <p>また、武蔵村山観光まちづくり協会の限られた人員や財源を有効活用するため、里山探索や史跡巡りなどの市で実施している事業内容との類似性が高い事業については、それぞれの役割分担を明確にした上で、共催を含めた運用を検討することや、市と同協会が密接に情報共有を行い、効率的な連携体制を構築することが望ましい。</p> <p>さらに、武蔵村山観光まちづくり協会が担うべき役割を踏まえれば、所管課の意見のとおり、今後、市民まつり実行委員会の運営を移管していくことに当委員会としても異論はない。ただし、市民まつりは、これまで多くの関連団体の自発的な協力によって支援されてきた歴史があるため、これまでの運営の経緯に配慮し、必要に応じて助成内容を見直すことが望ましい。</p>		

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	市民まつり推進事業				
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 3 観光				
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	観光 係 内線 224		
	内容	市民と協働で市民まつりを開催することにより、地域の素晴らしさを再認識し、相互の交流を図るとともに、市外に対しては知名度の向上や来訪者を呼び込む観光振興に寄与するものである。 武蔵村山市と武蔵村山市民まつり実行委員会との共催（協働）で「村山デエダラまつり」を開催する。		SDGsの取組 8 働きがいも経済成長も 		
事務事業の実績	事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和6年度の検討状況 市民まつり実行委員会において開催目的等を達成できるよう、限られた財源の中で開催方法及び内容等について検討し、イオンモールむさし村山臨時駐車場にて「村山デエダラまつり」を開催した。
	事業費（千円）		56	11,204	11,284	
	財源内訳	一般財源	46	11,143	11,284	
		国都支出金	0	0	0	
		その他	10	61	0	
	会計年度任用職員以外の職員（千円）		3,846	11,747	12,871	
	人件費	所要人員（人）	0.50	1.50	1.50	
		会計年度任用職員（千円）	143	469	558	
		所要人員（人）	0.10	0.30	0.30	
	合計（事業費+人件費）		4,045	23,420	24,713	
所管課の評価	事務事業の評価			事務事業の今後の進め方		
	【達成度】	<input type="checkbox"/> 目標以上 <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標以下 <input type="checkbox"/> その他 市民まつり実行委員会と共催で「村山デエダラまつり」を開催することができた。			平成30年度に行政評価委員会から、本事業の目的を達成するための適正な規模にすることを求められていることを踏まえ、武蔵村山観光まちづくり協会と市事務局の役割分担を明確にしながら、市民まつり実行委員会が主体的に企画運営を実施できるよう、事務を進めていく。	
	【理由】					

武蔵村山市 令和7年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	観光納涼花火大会助成事業		
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 3 観光		
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	観光 係 内線 224
	根拠法令等	令和6年度武蔵村山市観光納涼花火大会交付金交付要綱		
	目的	観光納涼花火大会を開催する武蔵村山市商工会に対し観光納涼花火大会交付金を交付することにより、その充実を図り、もって観光事業の振興に寄与することを目的とする。		SDGsの取組 8 働きがいも経済成長も
内容	武蔵村山市商工会、青年部及び観光納涼花火大会実行委員会の主催で武蔵村山市観光納涼花火大会を開催する。 当該観光納涼花火大会に対して、その経費（花火購入代金、会場等設営委託料、その運営経費等）の一部を補助する。			
対象（交付先）	武蔵村山市商工会			

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				1	観光納涼花火大会の実施	—
				実績	実施	
				達成率	—	
2		—	目標	—	—	—
				実績	—	
				達成率	—	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算		
交付金額（千円）	6,500	10,000	8,500		—
一般財源	6,500	10,000	8,500		
国都支出金	0	0	0		
その他	0	0	0		
会計年度任用職員以外の職員（千円）	2,308	2,350	2,575		他市等の状況
所要人員（人）	0.30	0.30	0.30		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	8,808	12,350	11,075		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和6年度の市補助金の使途	
	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算			
総額（千円）	16,667	18,646	16,751		交付金額（千円）	10,000
市補助金	6,500	10,000	8,500		花火費	6,000
会費	0	0	0		看板作成費	1,407
繰越金	0	0	0		設営費	2,593
事業収入	0	0	0			
その他	10,167	8,646	8,251			
総額（千円）	16,667	18,646	16,750		割合（％）	
交際費、飲食費	1,049	1,075	1,000		団体収入に占める補助金の割合	54%
人件費	415	522	550		団体収入に占める繰越金の割合	0%
事業経費	15,203	16,797	15,200		交付金額に対する繰越金の割合	0%
その他	0	252	0			

視点別の分析	内容	評価	
		必要である	見直しの余地がある
公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
効率性	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
率	補助期間を設定しているか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
性	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

令和6年度の実績	補助金交付に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> ●日程：令和6年8月24日（土） ●場所：（第一会場）野山北公園運動場（第二会場）イオンモールむさし村山駐車場 ●内容：花火打上げ、模擬店販売、アトラクション等 ●会場来場者数：約9,200人 	物価高騰に伴い花火代金や設営費等の経費が高くなってきているため、運営が厳しい状態である。

【今後の方向性】 拡充 現状維持 縮小・見直し 廃止・休止・終了

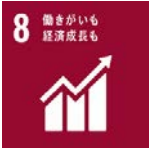
観光納涼花火大会は、村山テエダラまつりと並び、市内外からの集客力が高く、市の観光事業の振興にも寄与していることから、引き続き本事業に対する補助を行い、本市の観光施策の一助となるようにする。

成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
向上			
維持		○	
低下			

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

所管課の評価

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調書

事務事業の概要	事務事業名	村山温泉「かたくりの湯」運営事業				
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第1節 産業 3 観光				
	所管部署	協働推進 部	産業観光 課	観光 係 内線 224		
内容	<p>村山温泉「かたくりの湯」は、令和5年4月1日から一時閉館とし、令和7年度中の運営再開に向けて、令和6年度に改修工事に伴う実施設計及び指定管理者の選定等を行う。</p>	SDGsの取組				
		<p>8 働きがいも経済成長も</p> 				
事務事業の実績	事業経費				令和6年度の検討状況	
	事業費(千円)	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算		
	財源内訳	一般財源	10,780	5,846		38,461
		国都支出金	0	0		0
		その他	0	479		0
	人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	5,385	5,482		6,007
		所要人員(人)	0.70	0.70		0.70
		会計年度任用職員(千円)	0	0		0
		所要人員(人)	0.00	0.00		0.00
	合計(事業費+人件費)		16,165	11,328		44,468
指定管理者の選定については、公募の上、選定委員会を2回開催し、令和6年12月に指定管理者の指定を行った。改修工事については、実施設計を基に、一般会計補正予算(第6号)に工事請負費等を計上し、令和7年第1回市議会定例会での議決を経て、令和7年2月に請負契約を締結した。						
所管課の評価	事務事業の評価			事務事業の今後の進め方		
	【達成度】	<input type="checkbox"/> 目標以上 <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標以下 <input type="checkbox"/> その他 令和7年度中の運営再開に向けて、指定管理者の指定、実施設計及び工事請負契約を締結することができた。			令和7年度中の運営再開に向けて、改修工事を進めるとともに、基本協定等の締結をはじめ指定管理者との連絡調整を図る。	
	【理由】					